

## 宮崎牛のおいしさを知って

1月24日、西小林小でモーモー教室が行われました。5年生を対象に、和牛肥育農家の馬場幸成さんが、日本一の和牛づくりを説明。その後、児童は宮崎牛とアメリカ産牛肉を食べ比べ、宮崎牛のおいしさを実感していました。



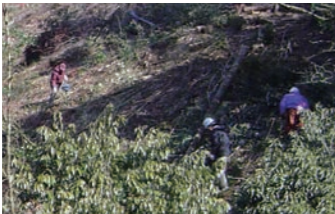
## ライオンズクラブが新一年生に寄贈

小林ライオンズクラブから市内の小学校の新入学児童に、ランドセルカバーが贈呈されました。贈呈されたカバーは市内の12校に423枚。受け取った子どもたちはとても嬉しそうでした。



## かくれ念仏洞に遊歩道を整備

2月8日、永久井野かくれ念仏洞で遊歩道の整備が行われました。四季折々の花が咲く遊歩道をつくり、来訪者を出迎えようと保存会や地域住民ら13人が参加。梅、南天やつつじなどが植えられました。



## 満開の桜並木を願って桜の手入れ作業

2月10日、牧場の桜の手入れ作業が行われました。こばやしさくらの会を中心に、市民や各団体など約140人が参加。約1,000本の桜を確認し、病気に感染した枝の切除や沿道の清掃などを実施しました。



## 自動車整備振興会が下敷きなどを寄贈

2月14日、自動車整備振興会小林支部から交通ルール下敷きと防犯定規各450枚が寄贈されました。これらは小学校新1年生に配布予定。田中節夫支部長は「子どもたちの交通安全・防犯の意識が高まれば」と話していました。



受賞者、金婚者、米寿者を代表して謝辞を述べた出水文洋さんと妻の紘子さん（金婚者代表）

## 心のかよう住みよい福祉のまちづくりを目指して

2月7日、こばやし福祉推進大会が文化会館で開催されました。朋保育園の園児によるかわいらしい歌で開幕し、地域福祉の向上に貢献した個人と団体を表彰。金婚者116組と米寿者103人を祝い、仲好友愛会による舞踊やほたるネットこばやしによる演劇が披露され、会場を盛り上げました。



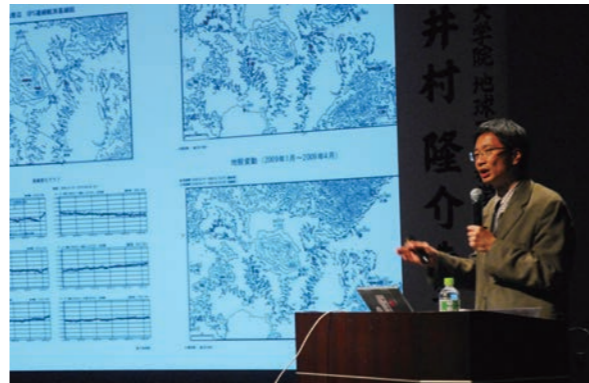
「農家民泊は農業、食べ物や田舎の大切さを伝える大切な活動、地域経済への効果も期待できるので頑張りたい」と話した富満さん

## 地域資源を活用した振興を地域振興フォーラム

2月13日、西諸県（小林市）地域振興フォーラムが文化会館で開催されました。農業農村の振興をテーマに農業、環境、観光、教育、雇用の視点から、3人が基調報告。北きりしま田舎物語推進協議会の富満哲夫副会長も壇上に立ち、農家民泊の活動内容やその効果について発表しました。

## 新燃岳の本格的噴火から2年 現状や備えを学ぶ講演会

1月25日、火山災害に備える講演会が文化会館で開催されました。市民活動支援センターが主催し、市民や行政関係者ら280人が参加。講演した鹿児島大学井村隆介准教授は、まだ注意が必要なことを説明した上で、「噴火の経験を生かし、観光などに活用してほしい」と話していました。



「まだマグマは冷えていない。新燃岳の火口付近を通る霧島縦走ができるまでには、10年単位の時間がかかる」と話した井村准教授

## プラス思考が未来を拓く 人権・男女共同参画イベント

2月2日、人権啓発・男女共同参画合同イベント「こころとこことがつながれば…」が文化会館で開催されました。市民ら約200人が参加。みやざき中央新聞編集長水谷もりひとさんの講演や、萩原博さん、重山陽子さんのミニコンサートを通し、人権問題などについて理解を深めました。



「いい大人とは」をテーマに登壇した水谷さん。食と性の大切さ、引き寄せの法則やプラス思考の重要性について語りました



小川さんはトマトづくりを説明し「みんなが食べておいしかったと言ってもらえることがうれしい」と話しました

## 生産者や食生活改善委員とふれあい交流給食で食を学ぶ

1月23日、三松小でふれあい交流給食が行われました。5年生は、同校に納品しているミニトマト生産者の小川道博さん、絃未さん夫妻と交流。児童を代表して壽福大輝くんが「農薬をあまり使わないなど、工夫して作っていることが分かった。いつもおいしいトマトをありがとうございます」とお礼を述べました。



最優秀賞を獲得した山崎さん【写真左】と柿木さん【写真右】  
山崎さんは2月16日に開催された宮崎県大会に出場しました

## わけもんの主張で山崎みなみさんが最優秀賞

1月24日、わけもんの主張が高原町ほえみ館で行われました。これは、西諸の市町の代表が最近の政治や選挙について感じることや考えを主張するもので、小林市からは山崎みなみさんと柿木健太さんが出場。両者とも、表現力豊かで落ち着いた発表し、山崎さんが見事、最優秀賞を受賞しました。